

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔44〕 東京都台東区立社会教育センター																						
指定管理者の名称	アズビル株式会社	指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31																				
1. 指定管理者の概要																							
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等																						
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設																						
(3)経営状況	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>売上総利益</td> <td>販売費・一般管理費</td> <td colspan="3">営業利益(単位:百万円)</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>59,785</td> <td>48,150</td> <td colspan="3">11,634</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>61,887</td> <td>49,624</td> <td colspan="3">12,263</td> </tr> </table>						売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益(単位:百万円)			24年	59,785	48,150	11,634			25年	61,887	49,624	12,263		
	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益(単位:百万円)																				
24年	59,785	48,150	11,634																				
25年	61,887	49,624	12,263																				
2. 施設の概要																							
(1)所在地	台東区東上野6-16-8 (上野小学校と併設)																						
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。																						
(3)利用者	主に社会教育関係団体。																						
(4)開館日・時間	開館日:火~日曜、第2・4月曜:9:00~22:00 第1・3・5月曜:13:00~22:00 休館日:年末年始(12/28~1/4) 設備点検日																						
(5)規模	ホール130人 会議室40人 調理室32人 和室20人 温水プール 25m×15m(7コース)																						
(6)人員体制	週40時間勤務 12名(清島温水プールも含む)																						
3. 事業(サービス提供)の概要																							
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施																						
(2)自主事業	10講座実施 延べ28回 延参加人数:246人 サークルフェスタ 延参加人数: 1,653人																						
4. 予算決算の推移																							
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																	
予算	委託料	75,222,000	76,019,000	77,001,000	68,024,000	67,488,000																	
	利用料金収入	2,450,000	2,560,000	2,600,000	2,180,000	2,260,000																	
	その他収入	0	0	0	0	0																	
	管理経費	77,672,000	78,579,000	79,601,000	70,204,000	69,748,000																	
決算	委託料	75,222,000	76,019,000	77,001,000	68,024,000	67,488,000																	
	利用料金収入	2,247,735	2,147,080	2,150,130	2,341,890	2,397,770																	
	その他収入	0	0	0	0	0																	
	管理経費	77,469,735	78,166,080	79,151,130	70,365,890	69,885,770																	
	収支	0	0	0	0	0																	
5. 施設の稼働状況等(活動指標)																							
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度																		
年間開館日数	日	353	355	354	355																		
自主事業等講座	講座	21	20	18	16																		
6. 成果指標																							
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度																		
利用率	%	54.5	50.9	53.4	54.5																		
利用人数	人	32,800	32,331	32,229	32,253																		

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>サークルフェスタでは、サークルが実行委員会のメンバーとしてフェスタ全体の催しや工夫の検討、会場の装飾品を作成するなど、全体の運営に積極的かつ主導的に取り組んだ。こうした活動を通じてサークル間の連携も一層高まり、また、利用者数も増加した。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [3] [2] [3] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	S	自主事業としてのサークルフェスタの開催を工夫し、全体的に自主的な活動ができるようになり参加サークルが活性化された。また、緊急時対応では、事故災害マニュアルに基づいたシミュレーションを定期的実施し、より適切な対応ができるようにしている。		
(2)施設の維持管理	A	点検等については、年度計画・月次工程に基づいて適切に実施し、必要な修繕を行っている。また、空調機のタイマー停止動作などの独自の省エネシステムを導入し、節電に努めている。		
(3)利用者の満足度	A	掲示物及び配布チラシ等の配置を見やすく工夫し、利用者に好評である。また、熱中症防止のため、温湿度計を窓口に設置しており、安心して利用できるとの声が多かった。		
(4)収入支出	A	独自の省エネシステムの導入や照明器具の間引き等、経費削減に取り組んでおり、適切な予算管理・予算執行を行っている。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p>				
妥当		サークルフェスタの自主運営が進み、参加サークルが活性化し、順調な事業運営となっている。独自の省エネシステムを導入し、節電や経費削減に努めるなど、適切な施設運営を行っている。		
<p>11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>サークルフェスタをさらに充実させ、サークル間の連携を一層強化する。また、2020年東京でのオリンピック・パラリンピックに向け、多様な言語や文化、オリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。</p>				